

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	名桜鑑賞誘客事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	13	4	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み							関連計画 条例等
		事業期間	16	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	観光客及び市内名桜	桜による観光客入り込み数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			150000	200000		
	ライトアップする名桜数	ライトアップする名桜数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		16
			16	16		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
夜桜、朝桜という新しい形の桜の見方を観光客に提供する。	夜桜による観光客数	18目標	30000	最終目標		
		18実績	30000	19目標		
		23目標	50000	23実績		
	夜桜見物のツアー数	18目標	10	最終目標		
		18実績	15	19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	当市の特色は、江戸彼岸桜の古木・巨木が市内に多く点在することである。これらの一本桜の素晴らしさをガイドと共に楽しむ桜守の旅は南信州観光公社に引継ぎ、観光客や旅行会社から高い評価を得てきた。本事業においては年々高まる当市の名桜資源をライトアップすることにより、夜間の桜鑑賞ツアーの造成と宿泊客数の増加を獲得し、観光消費の拡大と名桜地域としてのステータスの獲得を行う。全国桜シンポジウムと連携し、誘客を図るとともに、全国に情報発信を行う。	市内16箇所の名桜ライトアップ。観光公社とタイアップした名桜のライトアップツアーの実施に協力するとともに、名桜の花の時期以外のグリーシーズンもPRできるチラシ等の企画を行う。	企画数	5
		市内16箇所の名桜ライトアップと大宮通り桜並木の歩行者天国化(期間は4月中の10日間)。南信州観光公社による夜桜鑑賞ツアーの実施 和菓子探訪の旅企画の販売促進 全国桜シンポジウムと連携し、観光誘客を促進するとともに、桜による地域観光資源を活用する。	企画数	7

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,652	1,652
	事業費計(A)	1,652	1,652
人件費	正規職員所要時間	18年度 250	19年度 400
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	894	1,430
	トータルコストA+B	2,546	3,082

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	観光消費額(億円)	現状値	145	19実績	150
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	経済自立度(%)	経済自立度(%)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 桜守の旅は順調に伸びており、毎年3,000人を超える集客力を持っているが、十分な滞在型の旅企画となっていない。そこで、夜桜を題材としたツアー企画で確実な宿泊客の獲得を意図した。	事業を取り巻く状況の変化 多くの桜を観る旅から、一本桜の風情をガイドと共に楽しむ旅が評価される時代に变化してきた。	事業に対する市民や議会の意見 旅館・ホテル、立ち寄り施設等、観光事業者の期待も大きい。中心市街地の飲食店関係者の期待も大きい。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 飯田型春の観光の一つとして市内に点在する巨木の桜を活用したライトアップを企画し名桜ツアー企画を南信州観光公社が創生する。また、大宮通りなどでは団体誘客にも結びつく。	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 地道に情報発信し顧客の拡大
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) ライトアップの箇所数は限界である。	廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)	他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 点在する桜は地域、個人により様々な保全がされてきた。注目を浴びることにより地域や個人の私権に及び弊害も考えられ、それぞれに協議を重ねクリアする。	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) ライトアップと情報発信は行政がおこなうことが求められ、ツアー企画・販売等は南信州観光公社に協力する体制の強化やタイアップが徐々に確立されてきている。
	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 地域の観光振興であり、地域の経済のサイクルである。	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 桜ツアーの旅行企画を増加させるとともに、ツアー客の受け入れ態勢を強化する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	観光公社と連携した夜桜ツアーの数量を増加させる。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	